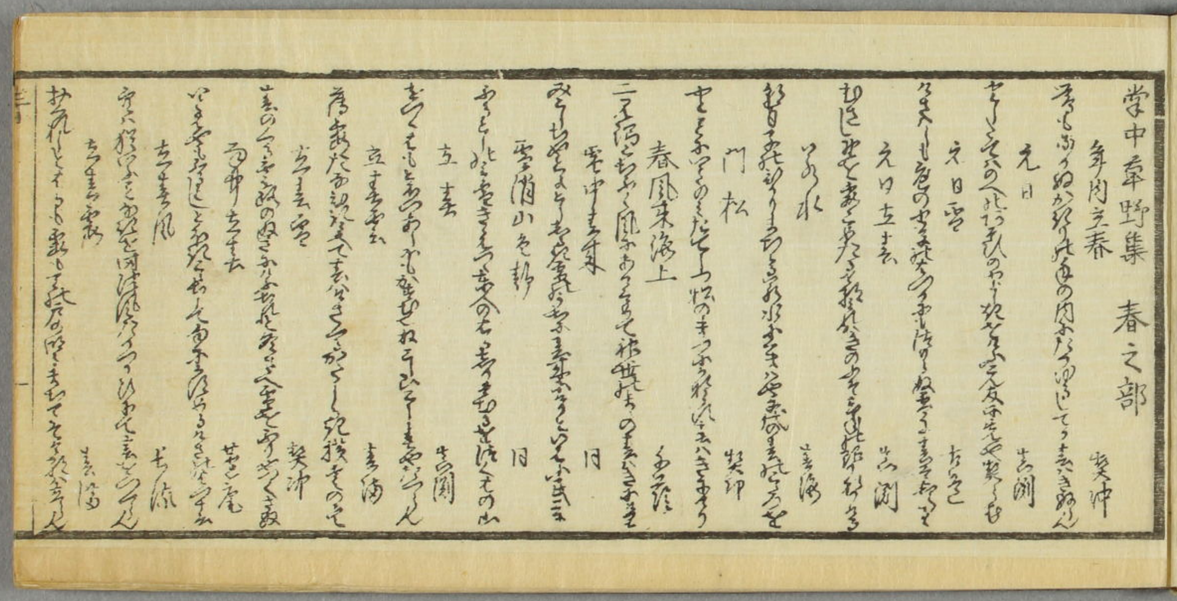
掌中学集

掌中類題草稿集

尚古堂
發行



月

花同

松上

月

梅同

月

柳和日

柳

柳風

柳月

柳

柳

柳

月

月

月

月

月

月

月

世まさの

世まさの

世經統

世雄

世

世

世

秋 名所

月

人々くらしとよ第七撰歌の月もなをつゆのふなをりつゝ

月の打ち

月の打ち

月

月

月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

左秋　　千代女

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

初秋天

初秋月

初秋風

日

初秋

日

初秋

日

日

日

七夕

日

七夕

日

日

七夕

七夕

七夕

撫子

月

姫撫子

月

月

月

萩の秋萩

月見

月

月

月

月

月

月

月

月

月

海月

海月

海月

困月　千蔭
[illegible]　枝直
[illegible]月　[illegible]海
幽栖秋月
[illegible]　千蔭
[illegible]月　宣長
[illegible]月　[illegible]庵
秋月入屋
[illegible]月　千蔭
窓中月
[illegible]月　宣長
故郷月
[illegible]月　[illegible]海
[illegible]月
[illegible]月　宣長
[illegible]月　たみこ
[illegible]月　千蔭
[illegible]月　枝直
旅宿月
[illegible]月　宣長
月似雪
[illegible]中
月似霜
[illegible]月　たみこ
[illegible]月　枝直
[illegible]月

[illegible]月　[illegible]海
[illegible]月　真淵
[illegible]月　[illegible]庵
月秋興
[illegible]月　千蔭
月芳[illegible]人
[illegible]月　真淵
[illegible]月　[illegible]満
月前思友
[illegible]月　枝直
[illegible]友月
月秋友　[illegible]渓
[illegible]月　たみこ
月の[illegible]
月の[illegible]　枝直
月前[illegible]　[illegible]庵
月前[illegible]　宣長
[illegible]月
[illegible]月　[illegible]
[illegible]月　千蔭
月の[illegible]　[illegible]海
[illegible]月
[illegible]月
[illegible]月　枝直

月前情

宣長

月前無情　枝直

月前喜情　素慎

月前恋　たみ子

月前思　千蔭

月催涙　宣長

月思古　芝庵

月前懐旧　長流

月前述懐　枝直

月前祝　素慎

月前祝國　千蔭

月前祈祇　素慎

月前述懐　枝直

雁　素慎

月　素法

待雁　契沖

雁来来　長流

初雁　千蔭

月　素慎

雁初鳴　枝直

夜初雁　素慎

猿初雁　長流

雁連雲　芝庵

雲外雁　古道

月　宣長

雲中雁　素々

霧間雁　美祢

関雁　枝直

源教授雁　月

月前雁来　古道

月前雁　枝直

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋日

秋月

秋雨

秋風

秋山

秋田

秋川

秋夕

秋蟬

秋虫

秋夜

秋思

秋霧

秋露

秋雲

秋月

秋風

秋虫

秋夜

秋霧

秋露

秋雲

秋月

八月

九月

冬

冬部

初冬

日

日

日

日

十月

日

日

日

日

初冬

初冬

初冬

初冬

初冬

初冬

初冬

初冬

初冬

時雨

時雨

時雨

日

日

日

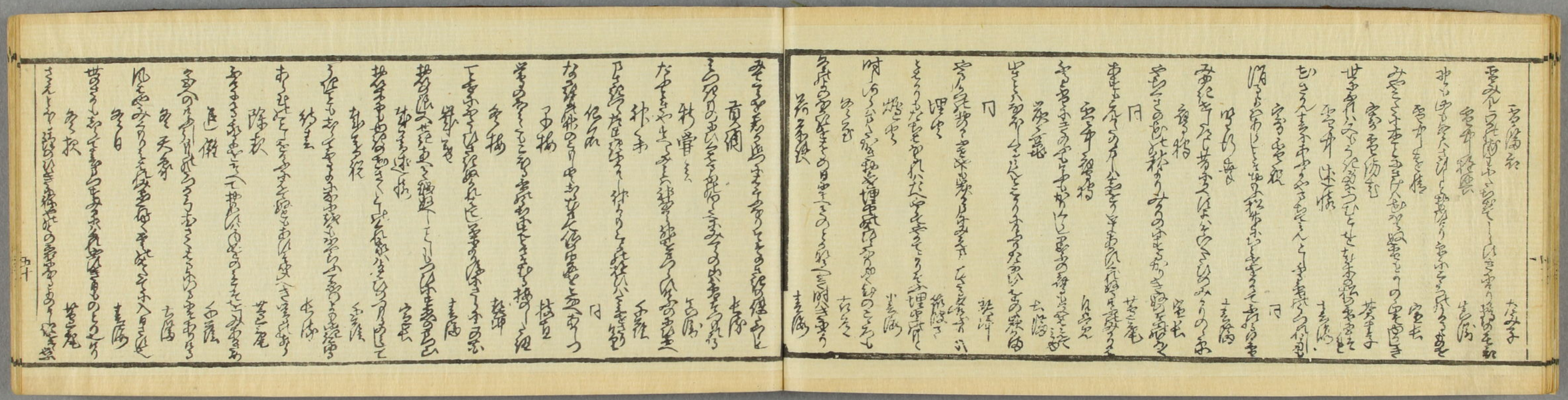
[illegible]

[illegible]

[illegible]

初雪

雪ふるとなにかこたへぬ人ぞうき
月
月のうちにかくれぬとしをしるべかな
かすみ初雪
うきみたに梅ぞ咲ぬる春の初雪
山ぶき初雪
ふるさとの八重の山ぶきうつろはん
いく度初雪
うたがはしてこそもしきるぬるまぬ
梅ぶき初雪
たつみ山ぶきの八重ぬるまぬ梅
朝雪
雨ふりしかすみ
ふるさとの雪
ふるさとの八重ぬるまぬ
初雪
雪ふる月
初雪
風ふくかぜ
ふるさとの雪
なしの雪
風ふくかぜ
雪ふる
雪ふる
雪ふる
山かぜ
つゝ
雪ふる
月
雪ふる
雪ふる
雪ふる



行方竜 京　千蔭

行置 京　通芝

行申 京　菅尾

契 京　宮長

契 京　同

契 京　通芝

契 京　太閤

契 京　菅尾

契行 京　左閤

契 京

契行 京　枝立

契 京　奥沖

契 京　宮長

契 京　子蔭

契 京　通芝

馴 京

馴 京

憑 京　千蔭

五 京　菅尾

涼 京　まち海

銀 京　宮長

互 京　枝立

不 京　佐小

涼 京　まち海

涼 京　成寺

涼 京　西伝

料 京　公庸

近 京　彩面

寄 京　ち華

不 京　まち海

水 京　奥沖

宣長

[illegible]

子蔭

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初冬恵　四位
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]

信幸
道張
岡崎子
古潭
李
飛騨子
法名
芳渓
やえす
玄沖
紀南
以興
ませす
藤井子
浦芝
古潭

ませす
宮老
宗祥
善弘
玄沖
秀りす
古潭
山岸
ませす
保宝
宗祥
善弘
玄沖
秀りす
古潭

題百

[illegible]

題魂

[illegible]

[illegible]

怪人題

[illegible]

世他人題

[illegible]

たゝぬ人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宣長

宣長

宣長

千蔭

枝吉

千蔭

千蔭

千蔭

宮の杜 恵

多の恵ふん高つゝ八数ふ

宮の嶽風 恵

つて中ん風のたりかりを宮のきれ所のうみちを

宮の春秋 恵

秋やたの秋の一ふ恵てつても初ら入やうはかるん

枝直

宮冬 恵

あををやをををををを冬をあをををれの人をひををひと

千義

宮の陵 恵

ひのつ所のをををををや祈せ多ふをれ神かをうん

芝の陵

宮の隈 恵

ふををりまをつをもををのをを方のをを一人をつれ良

なみの浦

宮の船 恵

船みくひをつをみにをれをを方良やをぬをみをの山をさ

契沖

宮の夕 恵

ふの人ををの夕人れのをりりさへつをおけさへ月をさぬ夕の

宮の秋 恵

なけさ、ふ秋の秋のりく春ふを所松やをの名はををと

宮の塵 恵

いつまりを宮ふを所ふけを方めをちりりと其人を月を

宮の山 恵

つれをを所人の月をつ、ふ山を方をけきのをを月をを山む

宮の松 恵

長ふ月をををを人を月ををを人を月をを山月ををりをを月

宮の岸 恵

いを所ふきをを山月をを所ふをりをを人をの後のみ年を命

おの山 彦 恵

東の松ふを月ひを月の山月を所ふをりををきりをを月を

宮の八谷 恵

宮所月ををのををを方ををを月をを月をを月をを月をを月

宮の畏 恵

宮の坂 恵

月を月ををををを山月宮恵をを月をを月

芝の原

宮の森 恵

つのれるをのををりをををををををををををををををを

宮の里 恵

ますのをををををををををををををををををををををを

宮の本 恵

つを恵ををつのををををををををををををををををを

宮の井 恵

をりをををををををををををををををををををををを

宮の岡 恵

りをををををををををををををををををををををを

宮の岡 恵

をを恵八神のををををををををををををををををを

宮の越 橋 恵

ををををををををををををををををををををををを

宮の郡 恵

なのををを人のをを郡ををををををををををををを

宮の原 恵

ををををををををををををををををををををををを

宮の浜 恵

ををををををををををををををををををををををを

宮の川 恵

ををれをのをを世ををををををををををををををを

宮の流 恵

ほををりをのををををををををををををををををを

長流

契沖

枝直

契沖

千義

芝の浦

契沖

千義

芝の浦

契沖

なみの

なみの

書籍 恵

さうもと 初出の本橋ふしくてたのみてワるあいだてふをを

宮の埼 恵

ふねのあるきそたのはやるあれ 宮五 尾

言のあ 恵

ちのみさいのロるれるみそもとれ 七 流

言の瀬 恵

いそりる瀬つ山のとろあふたあるとあすしのふを

宮の瀬 恵

みなるくロるれるとあ海川さあくき瀬ふ老をみさる

書の瀬 恵

あれやーふそるををすの花あるのいるみさの月かへのそろも 宮五 尾

言の海 恵

けひのくみふーら海のあるみくふ地ひけくふ長母けくへ

宮の海 恵

ふのうをあの海のくふるとくこ三恵

言の海 恵

ふりくれあるとの海れ海のよるをれとろうつ

宮の海 恵

あみまりりをあるまあのふをあるをれ母のをやをるを

宮の流 恵

をくれのくちあるくをふをのの深のあるくやみる

宮の崎 恵

清のりかりををへををんふきるくれの重れ重りふ

言の浦 恵

くれれらけをををとれもうくを陸れをうをを

宮の海 恵

かりをれくるみををへ言干海さくや海のあれちれり

言の磯 恵

むーけ二人の浦ふをひれの海のすもあふすもうれ

宮の浜 恵

宮五 長

宮五 尾

七 流

宮五 尾

宮五 尾

長 流

言 々

言 海

言 海

言 海

宮の縄 奥沖

宮の柵 同

宮の角 芭蕉

宮の乃 おちつ仲

宮の石 芭蕉

宮の木 宝長

宮の岩 芭蕉

宮の屋 孫面

宮の屋 芭蕉

宮の柳 芭蕉

宮の橋 芭蕉

宮の桂 芭蕉

宮の樋 千蔭

宮の樋 芭蕉

宮の杉 酒堂

宮の杉 芭蕉

宮の杉 芭蕉

宮の杉 芭蕉

第　望　集　　敷　都

天

日

日

日

風

春の野に若菜つむとて雲雀の鳴くを聞くなり　宣房

烟

たくしの小屋の煙ぞ春の来ぬる　言海

を村烟

さとあるみくさを春の野焼とて人屋の煙　宣長

山村烟

雲ゐ小屋の煙ぞ　八雲

海烟

海風に海人の小屋の煙とて海の中にも春の来ぬる　手代

陸烟

春の野に煙立ちそめ　信盛

相思

あしの葉の葉末を煙立ちそめ　山家

海苔

海苔の煙　言海

海藻

海藻の煙　信盛

海苔

海苔の煙　言海

海藻

海藻の煙　宣長

海苔

海苔の煙　言海

海藻

海藻の煙　言海

海苔

海苔の煙　言海

海藻

海藻の煙　言海

海苔

海苔の煙　言海

海藻

海藻の煙　言海

新撰集

山

月

山

月

山

月

枝

山

月

山

月

山

月

山部ノ淵

牧ヶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

田家

田家秋　芭蕉

田家風　芭蕉

田家月　涌井

田家秋　芭蕉

田家夕　芭蕉

田家秋　涌井

田家月　芭蕉

田家夕　芭蕉

田家部　部類

田家月　芭蕉

述懷

月　芭蕉

悠々二別已三年

遣之度歳　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

月　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷　芭蕉

述懷

作

竹

御乃外

里外

竹与沢を

源

木

松

十入りふさく山と毒もす

山松

巌松

松

海松

松物

海老松

破松

十入りふさく山と毒もす

海松

松

松

杖

義

杖

車

玉

鞠

碁

碁

帆

海人

舟人

樵夫

谷蔭夫

樵夫入山

遊女

傀儡

子

拾子

かさね

おひね

老

[illegible]

老子　　契沖

世の人[illegible]

[illegible]

[illegible]

挿仕

仕打のいかれもおかみさまのこのかたの　技吉

浪士

[illegible]　[illegible]

市井浪士

[illegible]　大浪士現市

僧

[illegible]

法師

[illegible]　佳風

老人

[illegible]

仙人

[illegible]

民

[illegible]

道

[illegible]

[illegible]

[illegible]

草堂深鎖白雲閑　千蔭

在天願作比翼鳥　同

白髮三千丈緣愁似個長　孫面

詩題古壁一苔　麦海

全　嶺上雲　同

全　寒溪章　同

全　宮人　斜　千蔭

全　閨　怨　同

心　千蔭

思　千蔭

全　隱　士　千蔭

全　宮人　斜　千蔭

全　閨　怨

要典

央行

千義

新面

千義

吉清

宣長

古道

杉直

清根

芙蓉尾

古濁

千義

杉直

古濁

契仲

成孝

契仲

たゝみる

宣長

芙蓉尾

長流

千義

杉直

古濁

契仲

千義

茶素

千義

杉直

古濁

千義

杉直

古濁

千義

葬

墓

尽

土満

千義

茶素

千義

杉直

古濁

契仲

たゝみる

宣長

芙蓉尾

長流

契仲

成孝

契仲

千義

杉直

古濁

任賀　千蔭

五[illegible]の[illegible]の[illegible]の

秋祝

[illegible]　宣長

[illegible]　千蔭

元祝

[illegible]　芳恵

元祝

[illegible]　芳恵

[illegible]　枝直

[illegible]　浦世

[illegible]　芳恵

[illegible]　紫青

宣長

[illegible]　芳恵

[illegible]　浦世

[illegible]　芳恵

[illegible]　千蔭

[illegible]　枝直

[illegible]　宣長

釋教

世のうつりかはるにつけてもあはれ大悲の誓ひ

麦 粉 敲　　麦 海

ふるにしたがひて麦飯をのこすこころ

麦 粉 敲　　涌 蓋

ひかりをくらべてものをこそおもへ

麦 粉 敲　　契 沖

月の光をあらそひてものをこそおもへ

麦 粉 敲　　同

てらしこそすれ月のあきらかなるこころ

麦の月 粉 敲　　甘 蔗

麦の通 粉 敲　　甘 蔗

てのうへにあまねくあまねくのたまひ

麦の通 粉 敲　　魚 彦

佛

西の方にまします阿弥陀仏と申す

仏 涅 槃　　契 沖

仏法をあるがりかなしみなげきたまふこころ

衆生無邊誓願度　　同

いとまもなく川をわたりてはたらくこころ

法門無邊誓願学　　同

山をこえ海をわたりてたづねとめたまふ

登大清浄願　　麦 海

人をすくひたまふこころ

衆怨悉退散のこころ　　千 蔭

佛

佛の御こころ

見好良苗今出在此　　甘 蔗

あはれみたまふこころ

色不異空空不異色のこころ　　甘 蔗

殺生戒

殺生戒

精進

よろづのものをいとひすてたまふこころ

白

白

麦 海

麦 海

釋教

世のうつりかはるにつけてもあはれ大悲の誓ひ

麦 粉 敲　　涌 蓋

ふるにしたがひて麦飯をのこすこころ

麦 粉 敲　　契 沖

ひかりをくらべてものをこそおもへ

麦の月 粉 敲　　同

てらしこそすれ月のあきらかなるこころ

麦の通 粉 敲　　甘 蔗

てのうへにあまねくあまねくのたまひ

麦の通 粉 敲　　魚 彦

佛

西の方にまします阿弥陀仏と申す

仏 涅 槃　　契 沖

仏法をあるがりかなしみなげきたまふこころ

衆生無邊誓願度　　同

いとまもなく川をわたりてはたらくこころ

法門無邊誓願学　　同

山をこえ海をわたりてたづねとめたまふ

登大清浄願　　麦 海

人をすくひたまふこころ

衆怨悉退散のこころ　　千 蔭

佛

佛の御こころ

見好良苗今出在此　　甘 蔗

あはれみたまふこころ

色不異空空不異色のこころ　　甘 蔗

殺生戒

殺生戒

精進

よろづのものをいとひすてたまふこころ

白

白

麦 海

麦 海

雜 部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三都書林

京都三条通柳屋町
出雲寺文次郎

大坂心齋橋南二丁目
敦賀屋九兵衛

發

恩心齋橋通北久太郎町
河内屋喜兵衛

江戸日本橋通一丁目
須原屋茂兵衛

行

同本石町十軒店
英　大助

同中橋廣小路
西宮彌兵衛

同芝神明前
岡田屋嘉七